



## 2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年5月13日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 正太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 荒木 秀朗 TEL 03-5342-1142  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 2019年6月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の業績 (2018年7月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	8,049	7.9	298	217.0	306	294.3	31	87.7
2018年6月期第3四半期	7,460	△3.2	94	△52.3	77	△37.9	17	△79.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	6.50	—
2018年6月期第3四半期	3.75	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	12,997	4,719	36.3
2018年6月期	12,257	4,690	38.3

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 4,719百万円 2018年6月期 4,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	10.00	10.00	10.00	50.00	80.00
2019年6月期	15.00	15.00	15.00		
2019年6月期 (予想)				—	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2019年6月期 (予想) につきましては、合計で80円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第4四半期の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

### 3. 2019年6月期の業績予想 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	4.3	1,200	9.0	1,175	9.1	800	△7.0	162.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3 Q	5,500,000株	2018年6月期	6,106,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期3 Q	502,508株	2018年6月期	1,299,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3 Q	4,912,763株	2018年6月期3 Q	4,538,694株

（注）2016年ESOP信託、2018年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(持分法損益等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は工学知に裏付けられた高付加価値なサービスの提供を通じて、収益の拡大と利益の確保、及び得られた利益を再投資に回すサイクルにより、企業として継続的に成長し続けることを重視しております。当事業年度は、前事業年度末からの繰越受注残高及び期中での受注の積み上げにより着実な売上拡大を目指しております。また、不採算プロジェクトの抑制と、提供価値に見合う戦略的見積価格の設定を通じて利益の確保にも努めております。さらに、欧州の大学発の屋内デジタル化技術を持つスタートアップへの投資を始めとして、今後の新たな事業展開に向けた投資にも積極的に取り組んでおります。

これらの取り組みの結果、当第3四半期累計期間の当社の経営成績につきましては、売上高は80億49百万円（前年同四半期は74億60百万円）、営業利益は2億98百万円（前年同四半期は94百万円）、経常利益は3億6百万円（前年同四半期は77百万円）となりました。また、第2四半期会計期間において特別損失を計上し、四半期純利益は31百万円（前年同四半期は17百万円）となりましたが、前年同四半期と比較して増収増益となりました。受注残高につきましても、前年同四半期末を上回る64億94百万円（前年同四半期末は58億97百万円）を確保しており、当事業年度末に向けた事業活動は堅調に推移しております。

以上を踏まえ、2019年5月13日開催の取締役会において、2019年3月31日を基準日とした当第3四半期末配当金を、1株当たり15円とすることを決議いたしました。なお、年間配当金の予想につきましては、1株当たり80円に変更はありません。

各報告セグメントに関しては、2.（3）四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第3四半期累計期間（自2018年7月1日至2019年3月31日）もご参照ください。

当第3四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## （エンジニアリングコンサルティング）

当第3四半期累計期間におきましては、構造設計コンサルティング業務、防災・減災のための解析業務、住宅メーカーや建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移しました。これらの高付加価値なサービス提供の結果、エンジニアリングコンサルティング事業における当第3四半期累計期間の売上高は58億89百万円（前年同四半期は56億0百万円）、売上総利益は34億22百万円（前年同四半期は29億10百万円）となりました。また、受注残高につきましては、55億63百万円（前年同四半期末は49億41百万円）となっております。

## （プロダクツサービス）

当第3四半期累計期間におきましては、設計者向けCAEソフト及び製造業向け営業支援ソリューションの販売が堅調に推移しました。また、米国SendGrid, Inc.のクラウドベースメール配信サービスが順調に販売を拡大し、IoT/IoE時代に向けた米国LockState, Inc.の入退室管理クラウドサービスの販売も拡大しました。この結果、プロダクツサービス事業における当第3四半期累計期間の売上高は21億59百万円（前年同四半期は18億59百万円）、売上総利益は8億8百万円（前年同四半期は5億92百万円）となりました。また、受注残高につきましては、9億30百万円（前年同四半期末は9億56百万円）となっております。

以上がセグメント別の概況であります。残りの第4四半期会計期間におきましても、年度計画の達成に向けて、受注獲得のための営業活動を重点的に行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて6.6%増加し、47億21百万円となりました。これは、主に仕掛品が6億13百万円、前渡金が62百万円増加する一方、その他流動資産が3億53百万円減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて5.7%増加し、82億76百万円となりました。これは、主に投資有価証券が7億81百万円増加する一方、ソフトウェアが40百万円、その他に含まれる関係会社株式が3億43百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて6.0%増加し、129億97百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて7.8%増加し、38億49百万円となりました。これは、主に賞与引当金が7億84百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億45百万円増加する一方、未払費用が6億55百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10.8%増加し、44億28百万円となりました。これは、主に社債が4億円、退職給付引当金が96百万円増加する一方、長期借入金が81百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて9.4%増加し、82億78百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて0.6%増加し、47億19百万円となりました。これは、主に資本剰余金が7億37百万円、利益剰余金が3億96百万円、自己株式が11億76百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、第2四半期において特別損失が発生いたしました。最近の業績動向等を勘案し、2018年8月6日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,059,897	1,048,965
受取手形及び売掛金	1,654,457	1,699,610
半製品	26,791	35,882
仕掛品	542,528	1,156,131
前渡金	25,209	87,833
前払費用	520,716	441,599
その他	650,975	297,475
貸倒引当金	△51,439	△46,187
流動資産合計	4,429,137	4,721,311
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,728,691	1,688,407
土地	3,267,401	3,267,401
その他(純額)	120,734	118,748
有形固定資産合計	5,116,826	5,074,557
無形固定資産		
ソフトウェア	357,094	316,484
その他	118,934	96,278
無形固定資産合計	476,028	412,763
投資その他の資産		
投資有価証券	319,692	1,101,340
その他	1,919,838	1,691,419
貸倒引当金	△3,757	△3,757
投資その他の資産合計	2,235,773	2,789,002
固定資産合計	7,828,629	8,276,322
資産合計	12,257,766	12,997,634
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	242,199	289,924
短期借入金	—	210,000
1年内返済予定の長期借入金	396,232	541,832
1年内償還予定の社債	—	100,000
未払金	779,982	329,942
未払費用	872,013	216,024
前受金	855,084	1,127,209
賞与引当金	—	784,212
役員賞与引当金	—	97,134
受注損失引当金	—	3,229
その他	425,831	149,788
流動負債合計	3,571,342	3,849,297

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,893,443	1,812,104
社債	—	400,000
株式報酬引当金	31,140	58,628
退職給付引当金	1,924,684	2,020,907
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	52,323	54,591
その他	53,958	42,577
<b>固定負債合計</b>	<b>3,995,549</b>	<b>4,428,808</b>
負債合計	7,566,892	8,278,106
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,897,032	1,159,926
利益剰余金	3,943,161	3,546,817
自己株式	△2,177,182	△1,000,592
<b>株主資本合計</b>	<b>4,673,211</b>	<b>4,716,351</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>17,662</b>	<b>3,176</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>17,662</b>	<b>3,176</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,690,874</b>	<b>4,719,527</b>
負債純資産合計	12,257,766	12,997,634

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	7,460,644	8,049,848
売上原価	3,957,256	3,818,626
売上総利益	3,503,388	4,231,221
販売費及び一般管理費	3,409,351	3,933,082
営業利益	94,037	298,138
営業外収益		
受取利息	19	27
有価証券利息	1,608	2,092
受取配当金	1,510	1,523
投資有価証券運用益	3,624	23,246
販売報奨金	—	11,397
その他	7,764	3,482
営業外収益合計	14,527	41,770
営業外費用		
支払利息	23,491	12,344
社債利息	—	816
社債発行費	—	9,539
コミットメントフィー	7,375	7,380
その他	15	3,554
営業外費用合計	30,881	33,636
経常利益	77,683	306,272
特別損失		
関係会社株式評価損	—	241,760
固定資産除却損	410	153
特別損失合計	410	241,913
税引前四半期純利益	77,272	64,359
法人税、住民税及び事業税	92,019	117,749
法人税等調整額	△31,761	△85,323
法人税等合計	60,258	32,426
四半期純利益	17,014	31,933

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年8月6日開催の取締役会決議に基づき、2018年8月27日付で、自己株式606,000株の消却を実施いたしました。これにより、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ、737,105千円減少しております。なお、株主資本の合計金額には影響ありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,600,961	1,859,683	7,460,644	—	7,460,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,600,961	1,859,683	7,460,644	—	7,460,644
セグメント利益	1,401,091	338,927	1,740,018	△1,645,981	94,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,645,981千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,889,956	2,159,891	8,049,848	—	8,049,848
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,889,956	2,159,891	8,049,848	—	8,049,848
セグメント利益	1,994,215	207,231	2,201,447	△1,903,308	298,138

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,903,308千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	528,305千円	286,545千円
持分法を適用した場合の投資の金額	460,510千円	279,686千円
	前第3四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△53,101千円	△180,824千円

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,071,358	96.9
プロダクツサービス	1,357,640	106.7
合計	4,428,998	99.7

(注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	7,096,804	112.4	5,563,971	112.6
プロダクツサービス	2,026,376	111.2	930,050	97.3
合計	9,123,180	112.1	6,494,022	110.1

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	5,889,956	105.2
プロダクツサービス	2,159,891	116.1
合計	8,049,898	107.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。